熊本記念 V展望

急上昇の中川誠に◎期待

新山　響平

山田　英明

古性　優作

中川誠一郎

平原　康多

　熊本地震から早や2年、熊本競輪場は壊滅状態である事で、久留米市のご厚意で久留米競輪場を借りての記念も3年目。熊本競輪は正式に再開が決まりました。

　一昨年は熊本のファンの後押しで、中川誠一郎が地元記念初優勝。昨年は浪花のド根性レーサー古性優作の優勝。オーソドックスな久留米の400バンクに今年はS級S班は桑原大志（山口）と平原康多（埼玉）の2名、1班は34名の特別競輪並の豪華版。この中から決勝進出の有力候補を9人選ぶと成れば至難の業ですが、近況成績そして地域性を熟考しました。北日本からはここに来て本格化した超大物新鋭、新山響平（青森）には衰え知らずの佐藤慎太郎（福島）。関東からは言わずと知れた実力・実績そして品格と全てを兼ね備えた誰しもが認める日本一のレーサー平原康多（埼玉）。南関東は脆さもあるが、恵まれた体躯から繰り出すスケール大きい強力パワーは同期のライバル脇本雄太に遜色無い根田空史（千葉）。パートナーは師匠でもあり千葉支部長としても凄い努力をしている巧者、中村浩士（千葉）。近畿代表は昨年の覇者、古性優作（大阪）、今年の活躍は見事でGⅠ（全日本選抜・オールスター）の優出に記念（静岡）Vは光って居り、単騎でもアッサリ連覇を決めてる快調子。瀬戸内はSSの桑原大志（山口）の実力に戦法では厳しいと判断。そこで抜擢したのは「鳴門の龍」こと小倉竜二（徳島）、落車・失格を怖れない勝負根性に卓越したテクニック、芸術的なハンドル投げの妙で準決勝の難関をクリヤーするものと信じて。九州は2年前のチャンピオン中川誠一郎（熊本）、S級S班として闘った昨年はプレッシャーもあり、思わぬ苦戦を強いられましたが、今年は平塚ダービー・岸和田高松宮記念杯の活躍を機に急上昇、6月末の宇都宮記念では初日特選でバンク新の13秒1を叩き出すや、準決をあきらめない捲りでクリヤー、決勝は会心の捲りを決め、記念4度目のVはメモリアルの400勝、続く松戸記念も捲り4連発で優勝をさらい、我が世の春を謳歌。自力でも勝てそうなのに、今回は強力な助っ人が2名、それは平オールスターのファン投票でドリームに選出された山田英明（佐賀）、今や押しも押されもせぬ九州輪界の第一人者に成長、そしてもう一人は初参加の特別、それもGIの平オールスターで決勝に乗り4着に喰い込んだ111期の超ルーキー山崎賢人（長崎）、6月の久留米記念では優出果たし、吉本卓仁・井上昌己・坂本亮馬を連れて2周半逃げたのは記憶に鮮烈。今回は熊本競輪の看板スター中川誠一郎の前で最低でも2度は頑張り、それが決勝戦なら最高。

　以上9人の外にも輪界のレジェンド神山雄一郎（栃木）。昨年の記念決勝は古性とライン形成したガッツマン南修二（大阪）。捲り鋭い飯野祐太（福島）。平原とは同級生で相性抜群の芦澤大輔（茨城）。落車続きでもゾンビの様に復活して来る阿竹智史（徳島）は小倉竜二の弟子。天才スプリンター柴崎淳（三重）の強烈捲りもですが、4月西武園記念優勝の和田圭（宮城）に、柴崎の弟々子、坂口晃輔（三重）。昨年の久留米記念優出の自力型、横山尚則（茨城）。ハイパワー石塚輪太郎・中西大の和歌山コンビ。そして地元記念に張り切りパーフェクトの状態に仕上げて来た松岡貴久・西川親幸・合志正臣・松川高大の熊本カルテットが決勝進出の予備軍。

　想定した通りの9名が決勝戦に駒を進めたものと仮定しての展開予想と印を。逃げるのは西九州の先輩、山田英明を従えたルーキー山崎賢人、事故点を考えたら誘導早期追い抜きは極力避けての鐘前カマシか、前を取ったら誰も出させない突っ張り先行。番手の山田は地元の重鎮、中川誠一郎が後であれば早目の番手捲りが本線。総合力上位の平原康多は根田空史・中村浩士の千葉勢か、佐藤慎太郎に任された新山響平が必ず山崎何するものぞで仕掛ける展開を読んでの単騎捲りで全国ファンの人気に応える事に。昨年の覇者、古性優作は独特の嗅覚で先手ラインの3番手をキープしての捲りか、前が上れば咄嗟の判断でインを急襲の連覇。この後ろは古性の事は認めてる小倉竜二か。印は地元の中川に◎。○は前で頑張る山田。本命と同等の▲は平原。×は巧者中村。特注に古性が予想。

（コンドル出版
武田一康）

優出有力選手（成績は9月2日現在）

平原康多 埼玉 36 SS	中川誠一郎 熊本 39 S1	古性優作 大阪 27 S1	山田英明 佐賀 35 S1	新山響平 青森 24 S1	佐藤慎太郎 福島 41 S1	根田空史 千葉 30 S1	山崎賢人 長崎 25 S2	中村浩士 千葉 40 S1
117.92	113.30	118.35	111.66	114.45	114.50	110.92	113.58	117.66
87 期	85 期	100 期	89 期	107 期	78 期	94 期	111 期	79 期
4 2	2 0	2 0	1 0	14 6	0 0	11 5	14 9	0 0
7 3 1	7 3 1	6 6 1	4 2 0	3 0 0	1 8 3	4 0 0	5 0 1	0 8 4
オ平　記弥彦 2⃞④1⃞ 6⃞①①	記福井　サ松戸 ①5⃞1 ❷1⑨ 9⃞	オ平　七前橋　サ松戸 1⃞1⃞1 5⃞①① ❸❻	サ松戸　記小松 7⃞②3⃞ ⑧❾⑥ 2⃞	記福井　サ松戸　◇一か月欠 1⃞3 ②8⃞ ①	オ平　七平　サ松戸 4⃞1⃞2 5②落 ❶3⃞	記松戸　七小倉　七函館 2⃞8⃞1⃞ ⑨①① ❽❼	七小倉　七奈良　記久留 222 ②①② 失❶❾	オ平　記松戸 6⃞③2⃞ 1❷②
記富山　オ平 ①3⃞⑥ ❷①落	オ平　記松戸 6①3⃞ ④❶③ 欠	記富山　オ平 ①1⃞② ❺②❻	オ平　◇一か月欠 失4⃞ 欠8⃞	オ平　記福井 ⑦②⑤ ⑦7⃞①	記富山　オ平 ⑤2⃞2⃞ ①⑥③	オ平　記松戸 2⃞1⑨ ⑥42⃞	オ平　八小松 ③21 ❹2① ❻	記小田　オ平 ②1⃞② ❷②❺
自在	自在	自在	自在	逃捲	差脚	逃捲	逃捲	差脚
1着6 2着7 3着3 着外7	1着9 2着2 3着3 着外7	1着11 2着2 3着1 着外8	1着2 2着4 3着2 着外12	1着5 2着4 3着1 着外11	1着6 2着6 3着2 着外6	1着6 2着3 3着0 着外13	1着8 2着7 3着1 着外4	1着3 2着9 3着2 着外5

根田　空史

佐藤慎太郎

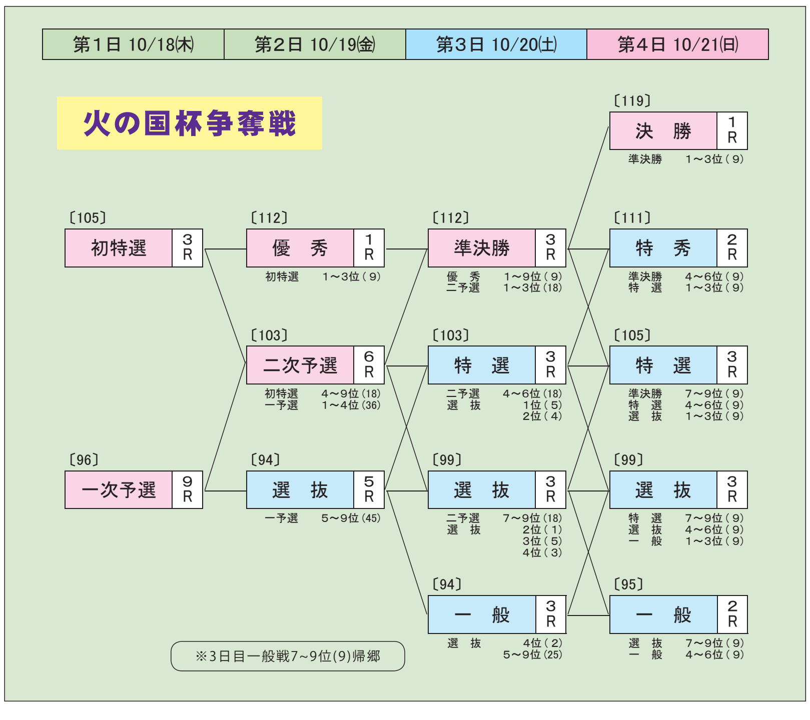
中村　浩士

山崎　賢人

松岡　貴久

小倉　竜二

熊本記念〔GⅢ〕概定番組表



本音で迫る!! 推奨選手

和田圭は久留米が得意!!

　ベストナインの他にも楽しみな選手が目白押し。GIのタイトル16個に生涯賞金獲得高は他の追随を許さない史上最高のレーサー、神山雄一郎（栃木）は走ってるだけでも凄い絵に成る超スター。年齢から来る脚力の衰えは経験と気力でカバーする。神山より3歳上は肥後の鉄人、西川親幸（熊本）、飽くなき執念で4日間に一度は確定板を挙げてる信じられない元気。地元共同杯に備えた佐々木則幸(高知)に、メンバー次第では捲りを出す萩原孝之（静岡）もだが、それ以上は、オールスターに地元小田原記念は完全に調整ミスした桐山敬太郎（神奈川）は、大好きな九州の場での大暴れを約束、その気に成れば逃げても捲ってものオールラウンダーは人気薄の時は絶対に見逃せない。熊本には熱心なファンが居る事で仕上げて来た笠松信幸（愛知）も推奨したいレーサー。鎖骨々折の痕が思わしくない処でオールスターの落車で又骨折した南修二（大阪）は、走ると決めた以上はの猛将。穴党に絶大なる人気がある柏野智典（岡山）は展開不問で3連対には入れたい穴男。先行より捲りの飯野祐太。長い間重度の腰痛（ヘルニア）に悩まされていた闘志の芦澤大輔（茨城）は狭い所でも平気に突っ込める執念は車券を買って損がない本物のプロ。凄い体力を有してる阿竹智史も走れば落車が続いているが、其の都度パワーアップしてる不思議なレーサー。今年は調子上がれば落車が続き、ツキに見放されてるのは地元輪界を支えて来た自力・自在の松岡貴久（熊本）、競輪祭に出場出来なかったウサは地元記念で晴らす。素材ならば兄弟子浅井康太より上と評判はダッシュマン柴崎淳（三重）、当然準決勝でも人気を集める自力型。4月の西武園記念を制した和田圭（宮城）は久留米バンクを得意にしてるのは要注意。肥後の若大将松川高大（熊本）はもっと自信を持って攻めれば優出可能なパワーの持ち主。祖父母は天草在住の坂口晃輔（三重）に熊本記念は地元も同然。昨年の久留米記念ではラインの長島大介（栃木）に優勝をプレゼントした横山尚則（茨城）のセンスある捲り戦法。逃げ一本の石塚輪太郎（和歌山）は久留米が初勝利のバンク。堀内俊介（神奈川）は逃げより捲り。そして中西大（和歌山）は、久留米が古里の自力型。